

---

■ 平成 26 年度 第 1 回「学芸大学駅周辺地区懇談会」 議事概要 ■

日 時：平成 26 年 10 月 9 日（木） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 30 分

場 所：目黒区鷹番住区センター 第 3・4 会議室

出席者：メンバー：11 名

目黒区：都市整備課：中澤課長、河原係長、馬瀬氏

道路工事課：山下係長、伊藤氏、金成氏

コンサルタント：益永、小林、河井

---

## 1 報告事項、資料等の説明

- 1) 交通安全対策の整備工事について
- 2) 「商店街の街づくり」の取り組みについて
- 3) その他

## 2 意見要旨

### 1) 交通安全対策の整備工事について

#### ○路側帯の色について

- ・ 2 年前に警察から緑系の色という提案があったが、住宅地のため茶系統の色で調整をし、黄土色になった経緯があるのだが、今回なぜ緑系の色となったのか。警察側にも、この件についてしっかりと経緯を説明すべきである。全体として色を揃えるべきであるのであるので、今回も同系統の色を要請する。
- ・ 緑というのは、住宅地に全くそぐわない。景観破壊を起こす。唐ヶ崎通りに接したところに住んでおり、周辺住民からも緑はありえなく、全体として統一した色にすべきとの意見も出ている。  
→景観などに配慮するため、地元と警察と協議して黄土系の色になった経緯があるが、今回、警視庁が実態調査をしたところ、黄色系では駐車禁止との誤認もあるので、緑系の色にという警視庁からの強い指導があった。
- ・ 警察が街を壊していいはずがない。緑系の色にするならば、整備しないで欲しい。街を破壊することについて賛成するわけにはいかない。抗議するならどうすればいいのか教えて欲しい。区長へ直接要望出せばいいのか、議会への陳情が良いのか、区が動きやすい方法を教えて欲しい。
- ・ この場では個人の意見をどうすれば良いかを話すべきではないと思う。他の人の意見も聞いてまとめるべきである。ただ、懇談会としては、おっしゃるとおり今までの色で整備を進めて欲しいという意見で良いと思う。茶系統の色で事業を始めたので、今までの色を踏襲してもらいたい。統一しないと色の意味がわからなくなってしまう。
- ・ もう一度、警察に色の件ではお願いするしかないと思う。
- ・ 今の色で事故が増えているのであれば話はわかるが、増えていないのであれば問題ないはず。
- ・ 現在の色は、思いつきで決めたのではなく、議論を積み重ねた結果である。  
→警察とは再度交渉を進めていきたい。区としては財政的に厳しい事情もあり、唐ヶ崎通りのグリーンベルトの整備については国費での整備をしたいと考えている。補助金の関係上、今年度中に実施をしたいと思っている。緑色化への反対意見もあるので、皆さんの意見をまとめて警察に交渉したいと思う。ただ、工事の関係上、時間の制約があることも理解していただきたい。

- ・ 交渉してダメなら、仕方がないのではないかな。グリーンベルトによる安全対策を行わないよりは行ったほうが良いと思う。
- ・ 全国どこへ行っても、緑色で整備しているところが多い。学大だけ黄土色にしても違和感があるし、混乱を招く可能性もある。どこの誰が見ても歩行空間だと分かる色は緑色なのだから、なぜ緑色にしてはいけないのかが分からない。

#### ○交通安全対策について

- ・ 都道に接する一つ手前の交差点の舗装が改良されていない。きちんと対応して欲しい。  
→水道工事等を行う予定であるため、未整備となっている。工事を行うのと同時に整備を行うこととなる。
- ・ 整備した交差点のお地蔵さんのところが自転車が利用しにくくなっているため、対応して欲しい。  
→現場で確認したい。

### 2)「商店街の街づくり」の取り組みについて

#### ○アンケートの件について

- ・ 2件しか回答のない商店街がある。割合でグラフにして比較するのはおかしいと思う。
- ・ 学大商店街ルールに関して、東口・西口ともに認知度が低い。本通り商店街では全て「知らない」となっており、問題ではないか。  
→指摘の通りである。実数で書いた棒グラフ等を追記する等対応をしたい。商店街の取り組みや学大ルールの周知もあわせて行うようにしていく。
- ・ 会員数に比べて回答数が少なく、アンケートをやる意味がないと思う。商店街の人が商店街の取り組みに興味がないということはわかった。また、きれいになったかと聞かれれば、きれいになったと答えるのが普通である。今後このようなアンケートを実施する際は懇談会の場で議題にあげて欲しい。
- ・ アンケートは商店街の取り組みのひとつであり、商店街の取り組みを周知する意味も含んでいるため、意味がないとは考えていない。商店街ルールの周知を含めて、様々な活動を諦めずに行い、少しずつ商店街を良くしていくことが重要である。たとえ、回答者が一人であっても行うべきであり、重要な施策と考えている。

#### ○押しチャリキャンペーンについて

- ・ 6年ぶりに押しチャリに関する話が出た。前もこの取り組みは良いと思ったが、取り組みを行わなくなった。なぜまた押しチャリの話が突然でてきたのか教えて欲しい。
- ・ 以前は、客が来なくなることを懸念する声があったため、取り組みをやめた経緯がある。最近になり、自転車マナー等の問題が出てきたため、実施することになった。
- ・ 押しチャリキャンペーンはいいと思う。お祭りの時など、テントがあっても自転車に乗ってしまう人もいる状況で、危険だと感じる。駅構内にキャンペーンの看板を置けないのか。
- ・ 押しチャリを進めることで、商店街から人が減る不安もあるが、話し合いを通じて、このよう取り組みを一つ一つ確実に行っていきたい。
- ・ 駅構内は東急電鉄の敷地のため看板設置は難しいと思うが、11月7日に駅構内も含めて調査を行う予定である。押しチャリをすることで商店街に来る人が減る不安もあるが、話し合いながら1つ1つ取り組んでいきたいと思う。

### 3) その他

#### ○ゾーン30について

- ・ 地域全体として採用をして欲しいと要望を出した結果、今年は東口のほとんどが入っている。

- ・ 世田谷区では、区報で大々的に掲載をしていた。学大の取り組みとして集大成であるので、区で大々的に宣伝して欲しい。広報などに載せて周知をして欲しい。
- ・ 補助 26 号線が出来たら、大通りで囲まれたエリアがゾーンで規制できる。
- ・ 今は「30 k m/h です」という警察が掲示する小さな看板しかないので、区でも応援をして欲しい。
  - 10 月に発行するニュースに掲載をすることになる。区報については、限られた誌面の中でどこまで掲載できるか現状では判断がつかない。掲載は出来ると思うが詳細についてはホームページ等を見てくださいという形で載ることになるかもしれない。警察と調整して、周知の方法を協議したい。
- ・ ゾーン 30 について、前回西口が指定された時に掲示板等に掲示がなかった。警察と区の連携が悪いのか。周知については、掲示板の利用、回覧の利用をして欲しい。
- ・ ゾーン 30 については、裏道など危険な箇所にも設置をしたほうがよい。設置の仕方を考えなくてはいけないのではないかと。どう考えても 30 k m/h 以上で走れない狭い道にゾーン 30 をつけても意味がないのではないかと。
  - 設置する場所については工夫する必要がある。警察と調整したい。
- ・ いきなり 30 k m/h の制限になりびっくりした。30 k m/h で走らないといけないのか。また、標識と道路標示があるが誰が設置しているのか。
  - 30 k m/h 以下で走行しなくてはいけない。標示がなければ制限がないことになる。標識があったとしても徐行で走ったほうが良いところもあるので各自で判断して欲しい。あくまで、30 k m/h 以下で走らなければならないということである。標識は警察、道路標示は区が警察からの要望で設置している。
- ・ ゾーン 30 で規制できるのは速度のみなのか。
  - ゾーン 30 の速度制限は最高速度 30 k m/h という制限がある。その他の対策として、交差点のカラー化などがあり、それらを含めて安全対策を行うものである。

### ○補助 26 号線整備について

- ・ 駒沢通りとの交差点については、改良計画が以前見た図面どおりになれば問題ないと思う。
- ・ 目黒通りとの交差点処理がおかしいので対策して欲しい。交通計画をきちんと行っているのか。区民への危険もあるので対策が必要である。この地域の入口でもあるので、きちんと対策をしないと危ない。バスルートも含めて対応して欲しい。安全対策に関しての説明を警察だけでなく、区でも説明が出来るように対応して欲しい。
- ・ 目黒通りとの交差点交差点のところに、細長い建物が建ってしまった。本来なら道路用地として取得すべき土地である。
  - 現在、目黒通りとの交差点形状はあまりよくない。現在、東京都が警察と線形協議中であるので、交通処理については、確認を行うこととする。ルートをどうするのか、安全対策等、東京都と協議しており、まだ調整中である。分り次第、情報を提供していきたい。
- ・ 補助 26 号線が整備された場合、現在のバス通り（都道）が区道にならないのか。
  - 現在は幅員 20m 以上が都道、15m 以上が区道という扱いである。管理にお金がかかるので、簡単に都道を区道にすることは難しい。都が整備を行ってから譲り受けることはあるかもしれないが、現状では難しい。
- ・ 補助 26 号線の整備に伴いバスルートを変えることについては、地元の対応が必要になる。そこに関しては懇談会ではなく密にやりとりをしなくてはいけない。
  - その通りである。様々な課と調整して、情報提供をしていく。
- ・ 交通の混乱があるので、ゾーン 30 を踏まえ、交通規制計画をもう一度作って欲しい。
- ・ 信号を要望しているがどのくらいの数なのかになるのか。区有地が隣のゴミ処理場はどうなるのか。

→分かり次第、情報を提供したい。

- ・ 旧六中跡地について、最初の計画では公園として利用されるはずだったが、放置されそのまま入れなくなっている。公園が不足しているので、補助 26 号線の整備が完了してからではなく、早く供用開始をして欲しい。北側のグラウンド同様に早く使えるようにして欲しい。

→旧六中跡地はまちづくりのための種地（公園用地）になっており、以前の計画から変更はない。今後の進展については、現時点では回答できないが担当の企画課へ伝えておく。

#### ○路線バスについて、

- ・ 五反田～世田谷区役所のバスが大幅に減った。不便になったという意見ある。補助 26 号線ができたらどうなるのか。  
→減った理由は東急バスに確認をしないとわからない。今後についても確認をしてみたいと思う。
- ・ バスが停車しやすいようにして欲しい。

#### ○自転車駐輪場の件について

- ・ 駅前の 2 階にある駐輪場は、エレベーターがなくお年寄りにとっては大変なので対策を考えられないか。  
→意見としていただいておく。

#### ○地区懇談会の周知について

- ・ 鷹番 1 丁目、2 丁目で町会長に地区懇談会へのお知らせがきていなかった。地元で地区懇談会をどう周知しているのかを教えて欲しい。  
→町会長へのお知らせの件については、問い合わせ後に確認して、直接お持ちし、説明を行った。今回については町会長の引き継ぎに関する連絡があったため、前任者のところにお知らせを送ってしまった。今後は引継ぎ等の連絡については注意していきたい。

#### ○区からの連絡事項

- ・ 学大まちづくり通信 13 号は 10 月末に予定している。
- ・ 次回懇談会は 2 月と予定していたが、カラー舗装の色の問題もあるため、また追ってご連絡させていただきたい。

以上